第3学年「（４）健康な生活と疾病の予防　エ 感染症の予防」

１　単元名　「感染症の予防」

２　単元の目標

・感染症の予防について関心をもち、学習活動に意欲的に取り組むことができるようにする。（関心・意欲・態度）

・感染症の予防について、課題の解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、科学的に考え、判断し、

それらを表すことができるようにする。　（思考・判断）

・感染症の予防について、課題の解決に役立つ基礎的な事項及びそれらと生活とのかかわりを理解することができるようにする。（知識・理解）

３　単元について

小学校では、病原体が主な要因となって起こる病気の予防には、病原体が体に入るのを防ぐことや体の抵抗力を高めておくことが必要であることを学習している。また、中学生期は、異性への関心を強くもつようになり、異性と交際したいという欲求が高まる時期である。一方で、性に対する規範意識の希薄化が進んでいる社会環境の中で、エイズ及び性感染症の増加傾向とその低年齢化が社会問題になっている。そこで本単元では、その疾病概念や感染経路について理解できるようにするとともに、予防方法を身に付ける必要があることを理解できるように指導する。

なお、本単元は、学校における性に関する指導に関する内容が示されていることから、①発達の段階を踏まえて指導すること、②学校全体で共通理解を図ること、③保護者の理解を得ることなど配慮することが大切である。

４　単元の評価規準

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 健康・安全への関心・意欲・態度 | 健康・安全についての思考・判断 | 健康・安全についての知識・理解 |
| ①　健康な生活と感染症の予防について、健康に関する資料を見たり、自分たちの生活を振り返ったりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。②　健康な生活と感染症の予防について、課題の解決に向けての話合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 | ①　健康な生活と感染症の予防について、健康に関する資料等で調べたことを基に課題や解決の方法を見付けたり、選んだりするなどして、それらを説明している。②　健康な生活と感染症の予防について、学習したことを自分たちの生活や事例などと比較したり、関係を見付けたりするなどして、筋道を立ててそれらを説明している。 | ①　感染症の予防について理解したことを言ったり、書き出したりしている。 |

５　単元の指導計画

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時 | 本時の目標 | 学習内容 | 評価規準 |
| 関 | 思 | 知 |
| １ | ・感染症について関心をもち、自分たちの生活を振り返ったりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。・感染症の原因について理解し、言ったり、書き出したりすることができる。 | ・感染症は、病原体が環境を通じて主体へ感染することで起こる病気であること。・発病には、自然環境、社会環境、主体などの条件が関係していること。 | ① |  | ① |
| ２ | ・感染症の予防について、学習したことや健康に関する資料等で調べたことを基に、課題や解決の方法を見付けたり、選んだりするなどして、それらを説明することができる。 | ・感染症を予防するには、発生源をなくすこと、感染経路を遮断すること、身体の抵抗力を高めることが有効であること。 |  | ① |  |
| ３本時 | ・感染症の予防について学習したことを基に、課題や解決の方法を見つけたり、選んだりするなどして、それらを説明することができる。・若い世代に多い性感染症について自分たちの暮らす地域の現状を知ることで自分ごとの課題として捉え、性感染症の疾病特徴と感染経路について理解し、予防方法を身につける必要があることをについて言ったり、書き出したりすることができる。 | ・性的接触により感染する病気のことを性感染症ということ。・性感染症は若年層で増加しており、十勝管内は10代の性感染症が長年の健康問題となっていること。・性感染症の予防方法を身に付ける必要があること。 |  | ② | ① |
| ４ | ・エイズの予防について、課題の解決に向けての話合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。・エイズの疾病概念や感染経路について理解し、予防方法を身に付ける必要があることについて言ったり、書き出したりすることができる。 | ・エイズの病原体はヒト免疫不全ウイルス（HIV）であり、主な感染経路は性的接触であること。・エイズは増加傾向にあり、低年齢化が社会問題になっていること。・予防方法を身に付ける必要があること。 | ② |  | ① |

６　本時の展開（例）　3単元「性感染症とその予防」

(1) 本時の目標

①　感染症の予防について学習したことを基に、課題や解決の方法を見つけたり、選んだりするなどして、それらを説明することが出来る。（思考・判断）

②　若い世代に多い性感染症について自分たちの暮らす地域の現状を知ることで自分ごとの課題として捉え、性感染症の疾病特徴と感染経路について理解し、予防方法を身につける必要があることをについて言ったり、書き出したりすることが出来る。（知識・理解）

　　　　　　　　　：学習課題　　　　　　　　　　：学習内容　　　　　　　　　 ：発問・指示など

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 展開 | ｽﾗｲﾄﾞ | 主な学習内容・学習活動 | ◯指導上の留意点　◆評価 |
| 導入 | 1~2 | 1.本時の学習目的について知る。 | ◯本時の授業は「今」と「未来」の自分に関わることであり、「今」性感染症について学ぶことが、大変重要であることを伝える。 |
| 3 | 2.本時のねらいを知る性感染症について知るとともに、その予防について考えよう | ◯学習課題を提示し、本時のねらいを押さえる。 |
| 4~10 | 3.性感染症の疾病概念と感染経路について理解する。・性感染症の疾病概念と感染経路・性感染症の特徴ワークシート「主な性感染症」の表で性器クラミジアの左の空欄に、一番多いことが分かる◯印を記入しましょう。 | ◯既習済みの感染症を復習しつつ、性感染症は性的接触により感染する病気であること、病原体の説明により、感染源との接触は性的接触によるものとなることを伝える。◯ワークシートに用語を記入させる。◯感染症の代表的な種類を説明し、性感染症の疾患の中で、性器クラミジアが多いことに注目させる。 |
| 　 |  | ◯性感染症は、感染時の症状が比較的軽い為だけでなく、程度や感じ方に個人差があること、潜伏期間が長いことにより、罹患に気がつかず放置してしまう危険と、人に感染させてしまう危険があることを説明する。◯性器クラミジアに感染した場合、発病時の症状だけでなく、治療が遅れることで将来の健康に影響することを説明する。◯専門の治療が必要であること、ピンポン感染、完治治療について伝える。 |
| 11 | 4.十勝の10代の性感染症の現状について知る。・十勝の10代の性器クラミジア感染者このグラフで分かることは何だろう。＜予想される反応＞・全国よりも十勝が多い・女性の方が多い・20代で急激に数が増えている・30代からは少ない | ◯グラフを提示し、十勝の状況を知る。◯１０代の感染者が多いことを確認し、自分の暮らす地域での身近な問題として捉え、人ごとではなく自分ごととして考えていかなくてはならないことを伝える。・全国よりも十勝が多い　⇒十勝は10年以上も前から、10代の性感染症が多いことが問題化。・女子の方が多い　⇒　女性は性器の構造上粘膜領域が　　多い。若年者はクラミジア感染の好発部位である子宮頸部が長い。妊娠時の感染症検査により罹患が判明する。・20代で急激に数が増えている　⇒　母子感染を予防するため妊娠時に必ず全数検査をし、感染者にはパートナーにも受診する様指導する。治療により完治する。 |
| 12 | 5.本時の学習を基に、性感染症の予防について考える。　性感染症を予防する有効な方法を、感染症の予防対策を使って、その方法がどのくらい有効なのか、有効ではないのかについて理由を考えましょう。　その後に、自分の考えを説明し、友達の考えを聞き、グループで話し合いをしましょう。＜予想される反応＞・生活習慣など健康に気をつけていれば、免疫力が上がって感染しない・手洗いやうがいをする・清潔にしていれば感染しない・血液や体液に直接触らない・避妊具を使う | ◯これまでの学習を基に、性感染症に感染しないための予防方法について、感染症の予防から有効な方法について、自分の考えをワークシートに記入させる。◯個々に記入後、３～４名程度のグループで発表し合わせ、その後いくつかのグループに発表させることにより、考えを深められる様にする。◆【思考・判断】　感染症の予防について学習したことを基に、課題や解決の方法を見つけたり、選んだりするなどして、それらを説明することができる。（観察・発言） |
| まとめ | 13~16 | 6.本時の学習のまとめをする。・性感染症は性的接触による感染・性感染症の病原体の特徴・感染経路を断つことが最大の予防 | ◯ワークシートの記入から、知識・理解の定着を確かめ、必要に応じて指導する。◯性感染症の予防は、感染経路を断つことが最も有効であることを確認する。◯感染経路を断つ方法としては、性的接触をしないこと、コンドームを使うことについて触れる。 |
|  |  | ◯保健所の話しから、知識を持つことで、正しい判断と対処行動（相談行動）を取ること出来る。今後将来に渡って、自分や大切な人の相談を信頼できる相手に対し援助を求める事（受診など）は必要であることを伝える。 |
| 17 | 　性感染症は、感染者との無防備な性的接触がなければ、普通の生活の中ではほとんど感染することはありません。　誰もが感染する可能性がある性感染症ですが、必要以上に心配することはなく、正しい知識を持てると、適切な判断と行動によって、自分の身体を守り健康に成長していくことができます。　このことは、自分自身の健康と、大切な自分の未来を守っていくことになります。　性感染症の心配事や相談は全国の保健所で、どこでも無料の相談支援を受けることができるので、覚えておきましょう。 | ◯今、自分には先のことの様に思う性感染症と思うかもしれないが、未来の自分を守るためにも、今性感染症の予防方法を身につけることが必要であることを伝え、まとめとする。 |
| 18 | ◆【知識・理解】　若い世代に多い性感染症について自分たちの暮らす地域の現状を知ることで自分ごとの課題として捉え、性感染症の疾病特徴と感染経路について理解し、予防方法を身につける必要があることをについて言ったり、書き出したりすることができる。（ワークシートの記述） |
|  | 19 | 7.振り返る学習活動　ワークシートに今日の学習で学んだことを記入しましょう。＜予想される反応＞・性感染症を予防するために感染経路を遮断する事が大切だ。・十勝では10代の性感染症に罹患者が多いので、一人ひとりが予防行動を取ることで、変わることが出来る。・将来のために、性感染症を予防する知識を持つことは大切だ。・性感染症の予防方法を身に付ける必要があること。 | ◯ワークシートに本時の学習で何が学べたのかを記入させる。 |

７.板書計画

|  |
| --- |
| 本時のねらい性感染症について知るとともに、その予防について考えよう≪感染症≫　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　≪性感染症≫　病原体（感染源）　　感染経路　　身体の抵抗力　　　　　病原体（感染源）　　感染経路　　身体の抵抗力　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　まとめ性的接触による感染性感染症は感染者の体液や粘膜に存在性感染症の病原体の特徴は性感染症の最大の予防方法は感染経路を断つ事 |